

1 基本理念

新学習指導要領、本府教育振興プラン～つながり・創る・京の知恵～と学校教育の重点及び本市学校教育の重点並びに、児童・保護者・地域社会の実態を踏まえ、時代の変化に対応でき、かつ地・徳・体の調和の取れた児童の育成に努める。また、「ふるさと しが」、「ふるさと あやべ」を大切にした教育を推進し、将来の夢を持って生きていけるようにする。

綾部市小中一貫教育構想「あい紡ぎプラン」に基づき、何北ブロック一貫教育のさらなる充実を図る。そのためにキャリア教育を重点に中学校の出口を意識した取り組みを展開する。

2 教育目標

(1) 学校教育目標

「地域に学び、地域に貢献、そして夢の実現」

(2) めざす子ども像

「自主的かつ意欲的に学習する子」 【かしこく】

「助けあい、励ましあい、生命を大切にする子」 【やさしく】

「健康で未来に向かって生き生き元気な子」 【たくましく】

(3) めざす教職員像 「教職員は一番の教育環境」

ア 笑顔あふれる「元気」な教職員

イ 一人一人の児童を大切にし、「本気」で取り組む熱意あふれる教職員

ウ 「根気」強く努力し、児童・保護者・地域社会から信頼される教職員

3 重点課題

(1) 「質の高い学力」をはぐくむ

ア 綾部市の『あい』のある学習を基盤にした指導法の工夫

イ 主体的・対話的で深い学びを目指す『わかる授業』（めあてと評価、手だてが一体となった授業）の実践

ウ 全国学力・学習状況調査、京都府学力診断テスト、全国的な標準テスト、虫めがねなどの個別分析を活かした個に応じた指導の充実による基礎・基本の確実な定着

- エ 8 コマ学習の定着と充実及び読書活動の推進など家庭と連携した「学びの基盤」の育成
- オ 互いに認めあい、安心して学べるあいのある学級経営の充実
- (2) 豊かな心と温かい人間性を育て、人間としてより良い生き方を身に付けさせる
 - ア 「特別の教科 道徳」や人権学習を中心に、教育活動全体を通しての道徳性の育成
 - イ 自尊感情や自己有用感、コミュニケーション能力を高める取組の充実
 - ウ 地域の人たちとの交流や異年齢活動を通じた社会性をはぐくむ取組の充実
 - エ 非行防止教室や薬物乱用防止教室、教育相談の充実による規範意識の醸成と生徒指導上の課題の解決未然防止
- (3) たくましく健やかな体をはぐくむ
 - ア 家庭と連携した基本的な生活習慣の確立や「お弁当の日」等による食育の推進
 - イ 体力・運動能力の向上やスポーツ活動・文化芸術活動の活性化
 - ウ 危機対応能力（自ら判断し、自ら行動する力）の育成と安全確保の徹底、危機管理体制の強化
- (4) ふるさと「あやべ」を愛する心や社会の変化に対応する力をはぐくむ
 - ア 「ふるさと しが」「ふるさと あやべ」について学び、主体的に生きる資質・能力の育成
 - イ 外国語活動、外国語（英語）科やALTとの交流などによるコミュニケーション能力の育成
 - ウ 情報手段を活用する能力を高める指導の充実
- (5) 一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす
 - ア 障がいに対する理解と個のニーズに応じた適切な支援と指導
 - イ 自他を尊重する態度や実践力を養う人権教育の推進
 - ウ 希望進路を切り拓く基盤となる能力や態度を育成するキャリア教育の充実
- (6) 保幼小中の強固な連携のもと、小中一貫教育の推進と学校の教育力の向上
 - ア ブロック内の教職員が同僚性を自覚し高める一貫教育の推進
 - イ ブロック内合同授業研究会や研修会による指導の連続性の確保
 - ウ 全教職員一人一人の授業力・実践力の向上
 - エ 教育公務員としての自覚と誇りを基盤とした学校の教育力の向上
 - オ 学校共同事務による小中事務業務の効率化